

銀杏坂タイム

◎ 仙台市子供相談支援センター

所長 大友 重明

仙台市青葉区錦町 1-3-9

TEL 022-214-8602 (相談支援係)

022-214-8848 (青少年指導係)

第 152 号 令和 4 年 12 月 9 日

ヤングケアラー研修会を開催しました

11月2日(水)に、日立システムズホール仙台(青年文化センター)を会場に、学校・児童福祉施設等職員を対象として研修会を実施しました。第一部では、「学校と児童福祉施設におけるヤングケアラーの理解について」と題して白梅学園大学 准教授 午藤 潤子先生より講話をいただきました。



まず、ヤングケアラーとは「大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子ども」(参照. 渡辺道代氏)と受け止め、「子どもとしての時間」と引き換えに、家事や家族の世話で「子どもの権利が守られていない」という状況を見極め、「日本が誇る児童館・NPO居場所・子ども食堂・保健室などで本人が相談できるような体制」を整えていき、「子どもが子どもでいられる街」を目指していきたいという話をいただきました。

第二部では、「ヤングケアラー～気づいて、つなぐには～」と題して、ヤングケアラー当事者だった方、NPO法人の中でも居場所づくり事業を展開している方々と午藤先生とのパネルディスカッションがありました。以下参加者の感想を抜粋して掲載いたします。

「やはり当事者のお話が印象に残りました。本人は、その状況が当たり前、困っていないし、同情されても…。先に泣かれても…。という思い」

「家庭のことは見えにくく、外へSOSを出すことも難しい。日頃から安心して話せる、相談できる人でありたいと思った。」

「受け止めるだけでなく、一人の人間として関わっていききたい。」

「何に困り、どのような支援を必要としているかを関わっていく中で一緒に考えていきたい。」

当日の講話とパネルディスカッションの様子は、今後youtubeで動画配信する予定となっておりますので、ぜひ視聴して学んでみませんか？

当センターでは、今年度からヤングケアラー相談窓口を開設しています。どこに相談したらいいかわからない本人・学校関係者や支援機関の皆さんを対象として受け付けていますので、必要に応じて活用いただきたいと思います。

子育てセミナーがありました

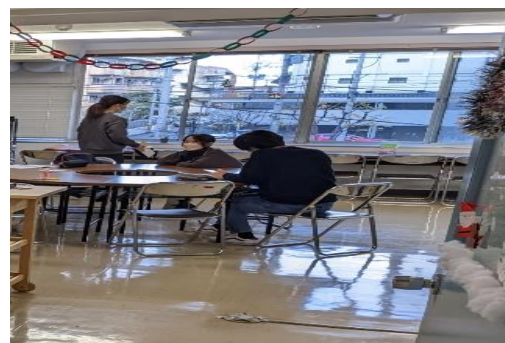
11月10日（木）に、国土交通省東北地方整備局外部カウンセラーの加藤和子先生をお招きし、今年度初めての子育てセミナーを実施しました。今回は、「共に育つ～親と子どもの心の安心～」をテーマに、発達段階からみる子育てについてお話いただきました。子育てを取り巻く時代の変化や、脳の仕組みから考える“非認知能力”の重要性、そして愛着形成の大切さなどを学ぶことができました。セミナーの後半では、参加者の方々一人一人の悩みや不安に対して、寄り添った丁寧な回答をいただき、子育ての辛さが和らぎ元気が湧いてくるセミナーとなりました。参加者アンケートの一部をご紹介します。

- *「疲れるけど怖くない子育て」を目指していきたいと思います。
- *子育てで悩んでいた気持ちがスッキリしました。
- *子どものことで悩んでいましたが、これから人生を歩んでいくために学んでるんだなと思うと、とても尊いことに思えました。
- *子育ての疑問が、本日のお話で一気に吹き飛びました！



ふれあい広場の日常を紹介します

いよいよ年末、クリスマスです。今年度は工作やイラストが好きな通所者が増えました。通所者の意思を確認しながら、工作に参加してもらっています。黙々と作成する方、雑談しながら描いていく方といろいろいますが、季節感ある掲示物で広場の中は、明るい雰囲気になっています。まさに、自分たちの長所や持ち味で自分たちの居場所を作っている感じです。



次年度に向けて進路が気になる時期に入ってきます。昨年度、引きこもりや不登校傾向にある中学3年生の中でも、進路先が決まらず、所属先がなくなる可能性がある方について支援機関の担当者との連携や学校の先生方とケース会・保護者との面談の機会を設定してもらったケースがありました。今年度も中学校には案内を送らせていただく予定です。

ふれあい広場は小学校高学年から概ね20歳までの方の通所スペースです。中学3年生に限らず、相談に応じていますし、就学・就労支援もしていますので、連絡をいただければと思います。